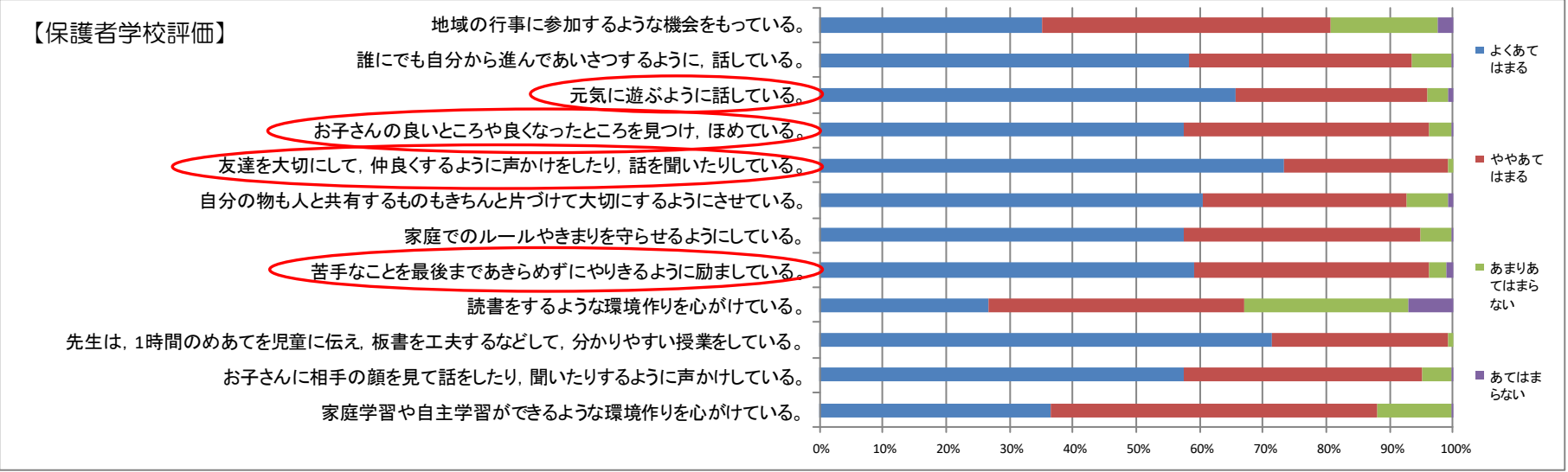
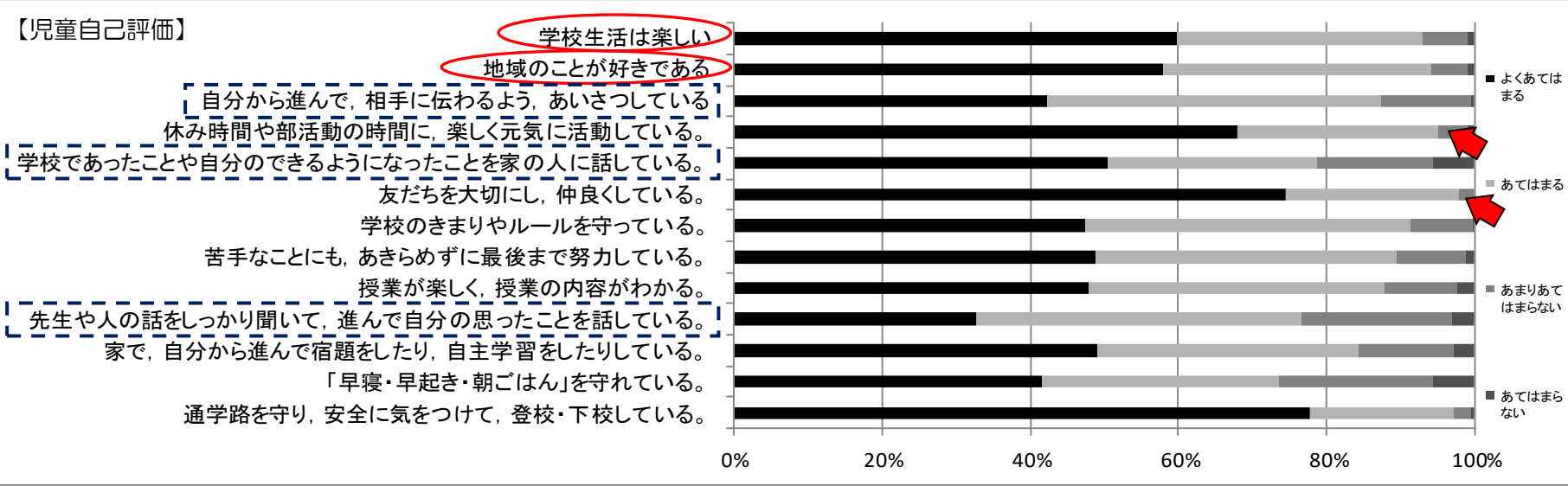


令和元年度 後期 紫野小学校教育評価アンケートの集計結果のご報告

多くの保護者の皆様にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告させていただきます。



保護者 「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価が高かったのが、「友達を大切にして、仲良くするように声をかけをしたり、話を聞いたりしている」、「お子さんの良いところや良くなったところを見つけ、ほめている」、「元気に遊ぶように話している」でした。この3つの項目は、前期も高い数値を示していましたが、後期はさらに数値を上げました。そして今回、この3つの項目に迫る高い数値を示したのが、「苦手なことを最後まであきらめずにやりきるように励ましている」です。学習が大切なことはもちろんのこと、各ご家庭で、これから生きていく中で大切にしていかなければならないことを、子ども達に伝えてくださっていることが、よくわかります。これからも子どもたちへの温かいお声かけをよろしくお願いいたします。



児童 「学校生活が楽しい」、「地域のことが好きである」の「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価が、前期に比べさらに上がっているのは、統合初年度となる本校にとって、注目すべき点だと捉えています。子ども達は楽しく学校生活を送っているのではないかと見て取れます。

保護者学校評価同様、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価が高かったのが、「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している」、「友だちを大切に、仲良くしている」の項目です。ご家庭で大切にしていることが子ども達にしっかり伝わっていることがわかります。その一方、「学校であったことや自分でできるようになったことを家の人に話している」、「先生や人の話をしっかり聞いて、進んで自分の思ったことを話している」の2つの項目、さらには「自分から進んで、相手に伝わるよう、あいさつをしている」の項目が、前期に比べ数値を下げています。日々、地域の人や事、物との関わりを大切にしながら、自分たちで課題を見つけ、自主的・意欲的に進めていく学習を中心に取り組んできています。『話すこと』に関する項目は、学力調査等でも数値を上げているのですが、子ども達には実感として捉えられていないのかもしれませんが。子ども達に自信や達成感を持たせられるよう取り組んでいきたいと思ひます。

「あいさつ」に関しては、数値が示す通り、「自分から進んで」というところがややできていないと、子ども達も自覚しているのだと考えられます。この結果をもとに、もう一度あいさつの意義や大切さを子ども達と考え、定着するよう共に取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭でも「あいさつ」について話したり考えたりする機会を持っていただけると幸いです。

教職員の評価についても、自信を持って自己を評価できるよう、より一層の努力と研鑽を重ね、学校教育目標に向かっていけるよう努力を続けていきたいと思ひます。保護者、地域の皆様、今後とも紫野小学校教育にご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

